



# 実用新案登録願

昭和 55 年 3 月 24 日

特許庁長官 川原 能雄 殿

フリガナ  
1. 考案の名称

ニンギョウ ドウブツ グ  
人形または動物がん具

2. 考案者

フリガナ ヨコハマ トツカ モトオハシ  
住所 神奈川県横浜市戸塚区元大橋 1 丁目 29 番 6 号  
フリガナ ヤマ グチ カオル  
氏名 山口 香

3. 実用新案登録出願人

フリガナ チヨダ ソトカンダ  
住所 東京都千代田区外神田 6 丁目 6 番 7 号

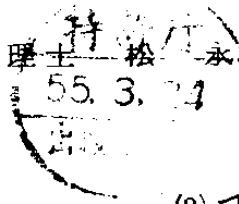
フリガナ ナガミネ ショウジ  
氏名(名称) 永峰商事株式会社

代表者 ヤマ グチ カオル  
山口 香  
(国籍)

4. 代理人 〒156 電話 東京(322)4850

住所 東京都世田谷区松原 3 丁目 27 番 27 号

氏名 (7644) 弁理士 松永 圭 司



5. 添付書類の目録

(1) 明細書 1通  
(3) 願書副本 1通

(2) 面 1通  
(4) 委任状 1通

55 037314

138685

方 式 蓋 印

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

人形または動物がん具

### 2. 実用新案登録請求の範囲

1. 人形または動物がん具において、手または前肢が、ほぼ身体の前面に沿い、かつ強制下に回転できるように前記手または前肢の付根部を胸部前面に取付けたことを特徴とする人形または動物がん具。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は、人形の手、または動物がん具の前肢の取付けに関するものである。

従来、人形または動物がん具の手または前肢が取付け部を中心にして回転できるようにしたものが市販されているが、肩の横位置に手などの付根部が取付けられているため、手などは上方に挙げまたは前方に突き出すなど身体の横位置での回転に限られ、手などのポーズと併せた人形や動物がん具全体としての表情の表現は不十分であつた。

本考案は、手または前肢の付根部の取付け位置を胸部前面，即ち従来不自然であると考えられた位置に取付けることにより、人形または動物がんに種々の手または前肢のポーズと一緒になつた人形または動物がんに全体としての表情の豊かさを付与するものである。

本考案の要旨は、人形または動物がんににおいて、手または前肢が、ほぼ身体の前面に沿い、かつ強制下に回転できるように前記手または前肢の付根部を胸部前面に取付けたことを特徴とする人形または動物がんにの構成にある。茲に人形にはつり下げ人形が、また動物がんにには、つり下げ動物がんにが、それぞれ含まれる。また人形や動物がんにの材質としては、軟質または硬質のプラスチック、ゴムなどが選ばれ、布製の動物の縫いぐるみも含まれる。

次に、手または前肢が、ほぼ身体の前面に沿つて回転するとは、手などの回転の際、ある部位では身体の部分と接し、他の部位では離れるが、概ね身体前面に沿っていることを意味し、強制下に

回転できるように手または前肢の付根部を胸部前面に取付けるとは、上記取付部間に回転に対する強い摩擦抵抗を付与し、ある程度以上の力を加えれば回転でき、力を抜けば、その位置に止まっていることを意味する。

本考案の実施例を図面に基いて説明すると、第1図は、人形の一つのポーズの正面図を示し、人形は軟質の弾性に富んだ中空製品で、人形1の胸部前面2に手4が取付けられている。取付けは、第2図に示すように中空の胴体の胸部前面2に円形の取付孔3を設け、この取付孔に第3図、手の平面図に示されるくびれた部分の円環溝5が嵌着している。この円環溝5の直径は、取付孔3の直径より幾分大きくしてあり、強制下に回転できるようになっている。また、円環溝5を含む取付部は手と直角に近い鈍角の角度で折曲し、回転に際し身体の出張った部分が障害とならず、手が、ほぼ身体の前面に沿って回転できるようになっている。

従つて、手を回転させて、手先を例えば口元や

胸元あるいは脚部など適宜の位置におくことができ、両手を並行的に、または対称的にあるいはそれぞれ別個に適宜位置に位置せしめて各様の手のポーズを取らせ、何ら違和感なく人形に愛らしい表情、愉快的表情、おどけた表情などを演じさせることができる。

第4図は、本考案に係る動物がん具の実施例を示す正面図で、動物がん具6は軟質の弾性に富む合成樹脂製で、胸部前面に前肢7が前述の人形の実施例と同じ方法で取付けられている。人形の場合と同様に、前肢に様々な位置のポーズを取らせ各種の表情を演じさせることができる。

縫いぐるみ動物がん具では、前肢の取付方法の一例として前肢の付根部と対応する胸部前面に厚目の硬質円板をそれぞれ取付け、この相接する両板の中心を貫いて軸を取付け、前肢をこの軸に関して強制下に回転させる方法が取られる。

硬質のプラスチックの人形または動物がん具でも、それぞれ公知の方法で手などを胸部前面に強制下に回転できるように取付けることができる。



本考案は、上述のような構成を有するので、手または前肢に各種のポーズを取らせることによりまともに人形または動物が人具に多様な表情を演じさせることができ、高い商品価値を付与するものである。

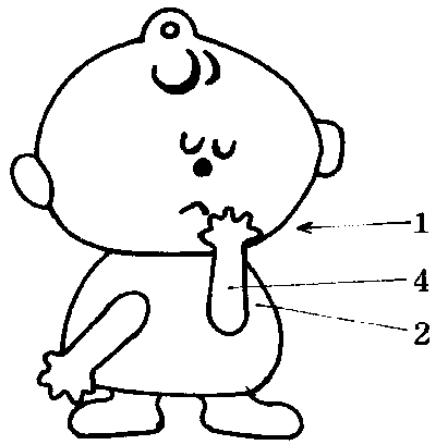
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案に係る人形の実施例の正面図で第2図は同じく手を胸部前面から引抜いたものの正面図、第3図は手の平面図を示し、第4図は動物が人具における実施例の正面図を示す。

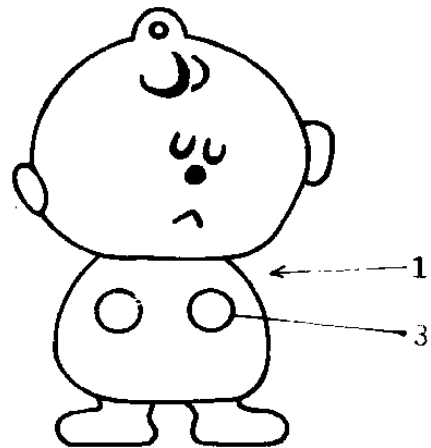
2.....胸部前面，      3.....取付孔，  
4.....手，              5.....円環溝，  
7.....前肢。

实用新案登録出願人      永峰商事株式会社  
代理人                      弁理士 松永圭司

第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図

